

製品名: TRAAK ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19176

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNK4 KCNK4; TRAAK; Potassium channel subfamily K member 4; TWIK-related arachidonic acid-stimulated potassium channel protein; TRAAK; Two pore potassium channel KT4.1; Two pore K(+) channel KT4.1
別名	
遺伝子 ID	50801.0
SwissProt ID	Q9NYG8
免疫原	抗血清はヒト KCNK4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 332-381

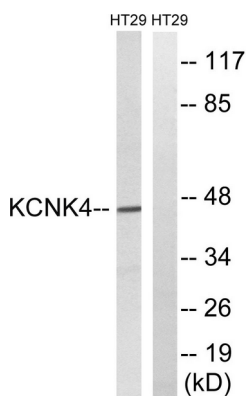
背景

この遺伝子は、TWIK 関連アラキドン酸刺激性二孔カリウムチャンネルサブファミリーのメンバーをコードします。コードされたタンパク質はホモ二量体を形成し、外向き整流性チャンネルとして機能します。このチャンネルは、多価不飽和脂肪酸、温度、および脂質膜の機械的変形によって制御されます。このタンパク質は主に神経組織で発現し、脊髄後根神経節ニューロンにおける有害入力閾値の制御に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。また、この遺伝子と下流の testis expressed 40 (TEX40) 遺伝子との間には、GeneID: 106780802 で表される自然発生的なリードスルー転写産物も存在します。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]、機能: 電圧非感受性、瞬時性、外向き整流性カリウムチャンネル。外向き整流は外部 K(+)濃度が高いと逆転する。類似性:2 孔ドメインカリウムチャンネル(TC 1.A.1.8)ファミリーに属する。サブユニット:ホモ二量体。

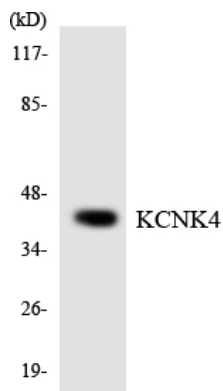
研究分野

細胞生物学、アポトーシス、細胞内、関連タンパク質、シグナル伝達、アダプター、細胞質、シグナル伝達経路、核シグナル伝達、NFκB 経路、成長因子/ホルモン、TNF、癌、成長因子、心血管、動脈硬化、血管炎症、炎症メディエーター

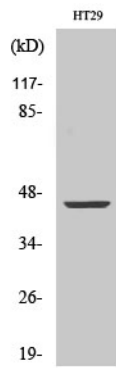
画像データ



KCNK4 抗体を用いた HT-29 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



KCNK4 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



TRAAK ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。